


【New Poetry House 日誌】  
 名も無き詩の鑑賞会  
 ~The Poetry With Noname~ By かな  
奇数月の第二日曜日、定期開催  
 ひるひとの  
 詩への想いを大切に。



◇ 2012/11/11 (Sun)

十一節 Poetry-highschool で交流のご縁もあって、西仙北高校三年生天野聖弥さん（現役☆男子高校生!!）が登場。言葉の断片がギッシリつまったノートを何冊も見せてくれました。

秋田県高校文芸コンクールでも入選を果たしている彼は、思いついた言葉を積み重ねて詩を編み込んだそうです。素数のようにシンプルに。書きためられた言葉たちの中から？ 今度はどんな詩が生まれて来るのでしょうか、楽しみます。

天野さんを迎え、十月三十日に高文連・詩の分科会で高校生達が取り組んだというグループ・リーディングを楽しみました。

谷川俊太郎作「生きる」の一行を各自の言葉にし、その中に自らを溶け込ませます。神の視点で描かれたよう

な詩がグッと身近になる不思議。ほんの僅かな言葉を入れ替え、みんなの、それぞれ好きなものを「盛る」ことで無限の広がりを感じることが出来ました。さらにグループで音読。頭で考えなくても、なんだか妙にわかってしまうような…。詩を深く感じます。



あき・ボエ!! 発足当時、BJだいちさんは、イエスの不滅のパンとは何か？ スタッフと語り合ったそうです。食べても無くならないもの。自由？ 愛？ 言葉？ それは文字ではないか。文字とは何か。何事かを永遠に繋ぐ種ではないか。不滅のパンは無くならない。誰かの血となり肉となる。けれど私たちがどんなに食べても。詩はちっとも減ることがない。

\*

愛猫家のための？「ねこ新聞」に掲載されていたという詩をおすそ分けします。（思えば会員にも猫好きが沢山いますね☆）作者だけでなく、タイトルも一緒に考えてみましょう！

「 」 作者 ?

猫よ  
おまえは うまれてきたことに  
びっくりしているみたいだ  
ビーダマいろの 瞳のなかに  
世界じゅうを うつしこんで

猫よ  
おまえは すぐに  
まぼろしの友だちを みつけろ  
みえないだれかを 追いかけて  
飛びあがり からかい いそがしい

猫よ  
おまえの とっておきの一日が  
はじまろうとしている  
あたらしい今日のなかで  
おまえは なにを見る？ だれにあう？



猫って神秘的。その謎めいた姿を、生き生きと映像的に描いたこの詩。最終連、はじめ二連の具体描写から、突然、けれど自然に、フイツと猫らしく？ それているような気がしませんか？

猫だけでなく、人間のこと？アーティストあるいは詩人のことのように... ということで田口さんが紹介してくれたこの作品は、童話作家で詩人の工藤直子作「うま

「夜明けのおはなし」

作者 ?

夜と朝の隙間に  
子供の頃食べた  
コーンポタージュの光が  
差し込んでいます  
毎日毎日毎日毎日  
オソンの一軒家に住む  
名も無いある人が  
作りすぎたスープを  
おすそ分けしようと  
遥か下の世界へ  
届くように祈りながら  
流し込んでいます



高橋さんが持ち寄ってくれたこの詩。一同... 揃って彼女の作品と思い込んでいます。作者は浅野大輝さん(み)との種明かし!! 高橋さんの同窓生、この作品は能代高校文芸部誌に掲載されたものなんだそうです。

コーンポタージュの。ほんのり甘い味と、薄黄色の柔らかな色。果てしなく優しく、あったかい。そっと私たちを包む神の存在。毎日毎日、流し込まれるそのスープは、祈りそのものでしょう。命であり、赦しであり、限らない愛でもあります。

とにかくビックリ仰天してしまっただ私たち。こんなに

れたて。なるほど〜!

大人で鑑賞した詩のタイトルは...

- ・たとたと
- ・北国の空
- ・おならは えらい
- ・うまれたて
- ・生きる
- ・活け花展の友
- ・伝説
- ・ずっとそばに(絵本)

### ◇ 2013/01/13 (Sun)

年が明けて最初の開催。大雪に見舞われる中、会員の高橋奈央さんが弘前から駆けつけてくれました♪

この日は、十一号レビューに参加することが叶わなかった佐久由・高橋の二人が参加出来る、というわけで。セカンド・レビューを兼ねて開催することに。(はじめの試みでした!) 次号発行も間近のため、発表予定の自作品を持ち寄って、みんなの意見を聞いてみるのも良いのでは...? などと考えていました。そこはやっぱり名も無き詩の鑑賞会♪ 他にも、素敵な作品が持ち寄られたのでした☆

うっとりするような、こんな詩はいかが? じっくり味わって下さい♪

いじらしく可愛らしい、それでいて大きな詩を、若い男性が書いているんですね。知らないだけなんです。高橋さん、おしそっくわてありがじゅう!! もっじゅっぴ、こんな詩に出逢いたい♪

\*

セカンド・レビューでは、レビューには残念ながら参加出来なかった二人の作品を中心に振り返りました。会員数も増え、特にグリーン会員などは学業との両立など多忙な毎日。日程調整が難しい中で、それでも相互にコミュニケーションしていくためにも、こつした機会が持てて良かったのではないのでしょうか☆

次号から取り組む クロス×レビューについても確認します。詩を味わうことに意識が高まります。詩の神様のコーンポタージュが流れ込んでいます♪ 二〇一三年も、どうぞ宜しくお祈りします☆

大人で鑑賞した詩のタイトルは...

- ・雀追い
- ・夜明けのおはなし
- (セカンド・レビュー)
- ・わたしが歌うのは。
- ・エッセンス
- ・待ちおくれ

ほか